



株式会社 笠盛

明治10年(1877)に笠嘉織物として織物業を始める。最初は水車で動力をとり撚糸や染色を行い、手織り織機で和装の帯を織った。昭和24年(1949)、合成繊維を取り入れた着物帯『笠盛献上』を特殊技術で生産し、当時、格安な価格での販売で大ヒットした。

昭和25年(1950)に笠盛織物株式会社を設立、同37年(1962)から刺繍業を始め、同47年(1972)に株式会社笠盛に名称を変更した。現在、社長を務める笠原康利氏は四代目となる。

織物業から撤退し、刺繍業一本に専念してからはジャガード刺繍機と呼ばれる自動マシンなどの先端技術をいち早く導入し順調に業績を伸ばしていく。近年では、企画開発に多くの時間を費やし、独自技術『カサモリレース』を開発。その技術を利用した服飾付属や新たな刺繍加工を企画し、東京やパリなどの様々な見本市や展示会において発信している。和装から洋装まであらゆる衣料加工に取り組み、最新鋭の刺繍機やレーザーカット等のテクノロジーと熟練した職人技術が融合し作り出される製品は、国内外のデザイナーやアパレルメーカーから高く評価されている。

平成22年(2010)、それまで蓄積した刺繍の技術を駆使したテキスタイル・アクセサリーの自社ブランド『000(トリプル・オー)』をスタート。“ゼロから新たな価値を創造する”“既成概念にとらわれない新しいものづくり”がブランドの由来で、同社の若いデザイナーのアイデアから誕生した。加工の技術により、芯を使用せずに絹糸だけでボール状にしたネックレス「Sphere(スフィア)シリーズ」は、2014グッドデザインぐんまで見事大賞を受賞した。

2月4日から6日まで、東京ビッグサイトで開催されるギフトショー、3月11日・12日は、東京青山で開催される桐生テキスタイルプロモーションショーに出展する。また、毎月最終週の金・土曜日には同社の展示室を一般開放し商品を表示販売している。

- 場所／桐生市三吉町1-3-3
- 電話／0277-44-3358
- HP／<http://www.kasamori.co.jp>
<http://www.000-triple.com/>



刺繍の可能性を追求
感性溢れる製品で感動を伝える